

「習志野きらっと 2024」に参加しました サンバパレードで感じた一体感

木村真弓（文化交流部会）

10月13日(日)、快晴の下、市民まつり「習志野きらっと 2024」が市庁舎敷地および市役所通りで開催されました。

サンバパレード参加者およそ35名は、午後3時30分にサンロード津田沼6階に集合して、軽食をとりながらダンスの練習を行った後、京成津田沼駅前に移動してパレードの開始を待ちました。恒例の赤のハッピに加えて、国際交流協会らしく多国籍のメンバーが華やかな民族衣装を身にまといまつりを盛りあげ

ました。

NIAのチームは、阿波踊りでよくいわれる「踊らなにゃそんそん」といったノリで元気よく、沿道の観客からの歓声にも応える余裕も見られました。

きらっとまつりの催しの中でも、より一体感を感じられるイベントではないかと思って、これぞ市民まつりだと思いました。

来年度も、また新しい仲間とともにサンバをはじめていきたいと思います。オーレ



京成津田沼駅前で待機



本番前のダンスの練習